



2014/1 Vol.01

創刊号



We hope a "Bright Future" 地域の明るい未来を願って



02 【院長あいさつ】



「創刊にあたって」



新病院概要紹介

04 【トピックス】こちら地域医療連携室です

05 【活動報告】10月～12月

06 【各科紹介】内科・循環器内科

08 【健康体操】糖尿病と糖尿病予備群の方へ

08 【健康レシピ】切干大根のアラビアータ風



ご自由にお持ち下さい

TAKE FREE

新病院概要紹介

南西側からのイメージ



プロフィール *profile*
 唐津市出身
 唐津東高校卒業
 九州大学医学部卒業
 整形外科医
 平成20年より唐津赤十字病院院長



新病院概要紹介

03

「創刊にあたって」

院長あいさつ

唐津赤十字病院 院長 志田原 哲

年頭あいさつ

新年 明けまして おめでとうございます。

昨年は、猛暑の夏が過ぎ、あっという間の冬到来。季節外れの台風、局地的な竜巻発生と、地球温暖化を実感するような年でした。今年は、穏やかな天候、穏やかな景気回復、社会の安定を願いたいものです。

創刊の意義

今回、唐津赤十字病院は地域の皆様に向けての、広報誌を発刊することといたしました。

日本は、今後急速に少子高齢化に進んでいきます。もちろん当地域も例外ではありません。団塊の世代が75歳以上になる2025年、高齢化率は30%に達します。また社会保障の費用が増大し、医療も役割分担など、社会全体としての効率化を求められています。そこで、地域の皆様にも当院の役割を十分理解していただき、上手に、効率よく利用して頂きたく様々な情報を届けたいと思っています。

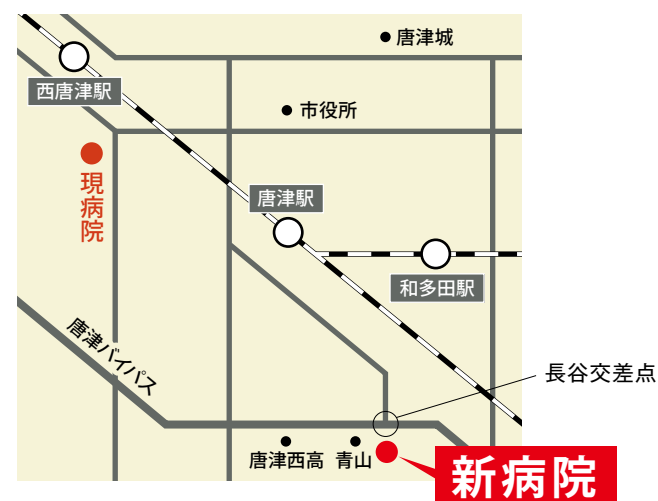
当院の役割

唐津赤十字病院の役割は、急性の病気や慢性の病気が急に悪化したとき、緊急、重傷な状態の患者さんに対して、地域の医療機関より紹介を受け、入院、手術、検査など専門的な医療を行う病院です。症状が安定したら、近くのかかりつけ医に紹介します。以前は、1つの病院で急性期からリハビリまで行われていましたが、前記の理由で、地域全体で役割分担をしていかないと、日本の医療が守れなくなります。ご理解・ご協力をお願いします。

また、当院は全国の赤十字病院と協働して災害医療にも貢献しており、今後も災害拠点病院としての役割を果たしてまいります。

新病院建設

老朽化だけでなく、これらを実現するためにも、病院の移転新築は必要でした。新病院建設地は、唐津市のご尽力により、現在地よりもより人口重心地に近く、次の高次医療のある佐賀市、福岡市にもアクセスのよい、長谷地区に決定、現在造成工事を行っていただいています。本年3月には建設工事に着手し、平成28年5



月に新病院を開院するスケジュールで進めてまいります。

お願い

今後は、更なる地域連携(地域の医療機関、介護福祉施設との連携など)が必要となっていきます。これらの情報も発信してまいりますので、皆様からのご意見・ご要望等いただけましたら幸いです。よろしくお願い申し上げます。



主玄関からのイメージ

新病院の概要

所在地	唐津市和多田・町田・長谷
敷地面積	約29,700㎡
建物	鉄骨鉄筋コンクリート造7階建(免震構造) 約24,500㎡
7階	設備機械室・ヘリポート
6階	病棟
5階	病棟
4階	病棟
3階	病棟・手術室・救命救急センター
2階	リハビリ・人工透析・化学療法・検査・薬剤・栄養・医局・事務
1階	受付・外来・放射線・検査・救急・講堂
駐車場	約680台

特に機能強化を図るもの

- ① 地域救命救急センターとしての機能強化
- ② 地域がん診療拠点病院としての機能強化
- ③ 小児医療、小児救急医療の強化
- ④ 周産期医療機能の強化
- ⑤ 災害拠点病院及び緊急被ばく二次医療機関としての機能強化

院長あいさつ

02

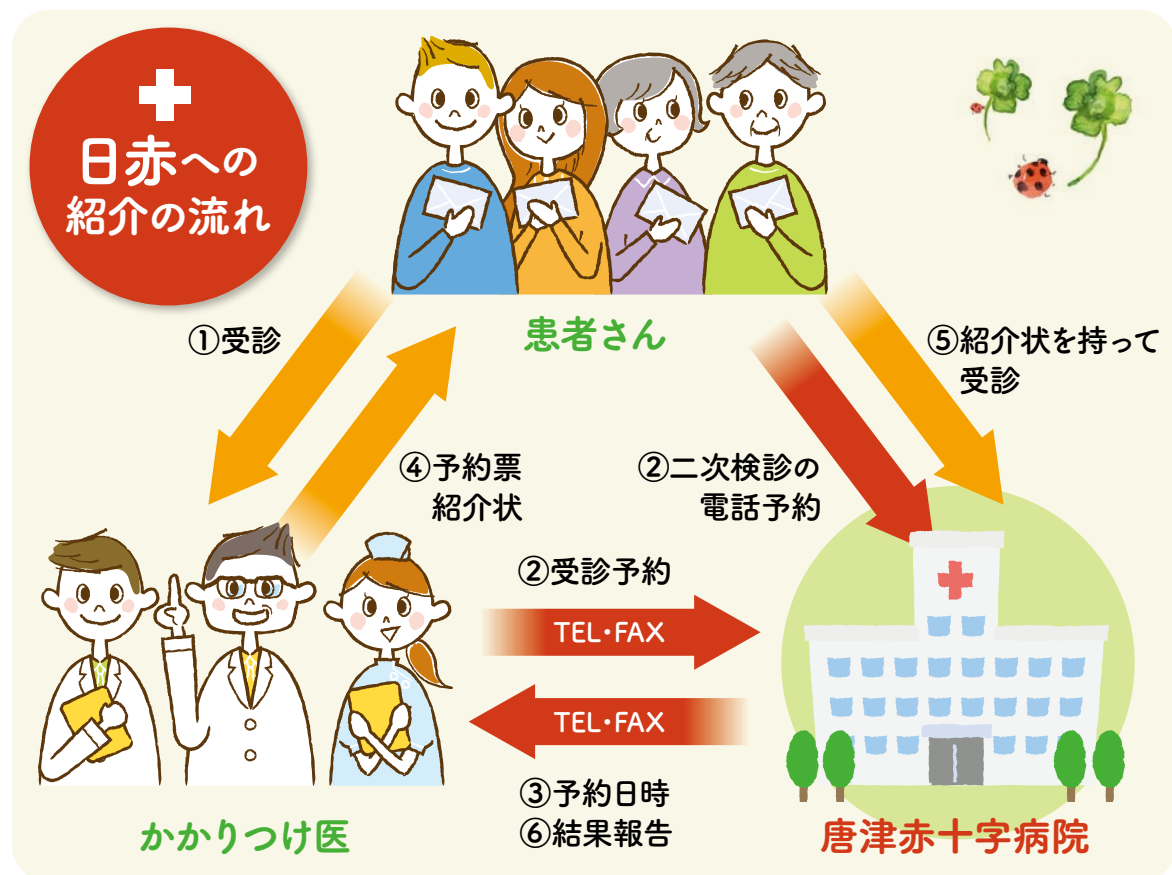


地域医療連携室長
森 唯史

地域医療連携室をご存知でしょうか？当院では正面玄関から入って真っ直ぐのところに位置する総勢12名（看護副部長1名、看護師長1名、ソーシャルワーカー4名、事務6名）の部署です。名前のとおり地域、すなわち唐津全体で患者さん一人ひとりにふさわしい最善の医療を提供していくために、かかりつけの先生や色々な介護施設等と当院との橋渡しを行う部署です。

他に、入退院時や他の医療介護等が必要な場合も当連携室でサポートしておりますので、何か不安がある場合にはご遠慮なくご相談ください。

最後になりますが、連携室は患者さんとそのご家族を中心とした、医療を提供する『お手伝い室』だと考えております。決して大きくない部署ですが、過不足無いよう頑張っておりますので宜しくお願いいたします。



❖患者さんへのお知らせ

当院は**紹介状**をお持ちで、**予約**されている患者さんを優先して診療を行っています。紹介状をお持ちでない場合、特定療養費として1,575円を頂戴しております。また、紹介状をお持ちであっても、ご予約の無い患者さんは待ち時間が長時間になったり、場合によっては受診できないこともございます。

当院を受診の際は、

- ①紹介状の持参
 - ②事前のご予約
- の2つをお願い致します。

私たちがご案内
いたします！



地域医療への貢献の決意を新たに 開院56周年記念式典を開催

10月
18(金)

唐津シーサイドホテルにおいて、開院56周年記念式典を開催しました。当院は昭和32年10月15日に開院し、本年をもって創立56周年を迎えました。創立以来、当院を支えてくださった関係者の方々に感謝を申し上げ、地域医療への貢献の決意を新たにしました。

また、開院記念式典と併せて、職員永年勤続表彰も行いました。



表彰者と幹部でパジャリ
表彰者の方、
おめでとうございます

ACTIVITY REPORT

活動報告

10月～12月

佐賀県の基幹病院として住民のみなさんへ
様々な病気についてお伝えします！

サガテレビの「健康バンバン！」に出演♪

11月
14(木)・28(木)

11月は内科の竹之下医師と岩根医師が出演しました。竹之下医師は「糖尿病による足の合併症」をテーマに当院で開設しているフットケア外来や患者さんが自宅でできる予防策について、岩根医師は「肝臓検査に来てみんしゃい」というテーマで肝臓の状態を検査する様々な機器について、わかりやすく話しました。サガテレビのかちかちワイドのホームページにて見る事ができますので、ぜひご覧ください！



スタジオからの生出演
にやや緊張…(笑)

唐津赤十字病院
糖尿病内科
竹之下博正さん

もっと知ろう！乳がんのこと

りふれホールにて市民公開講座を開催

11月
10(日)

地域住民の皆様へのがんに関する知識の普及・啓発を目的に、市民公開講座「もっと知ろう！乳がんのこと」を開催いたしました。

今年度は、乳がんを大きなテーマに据えて、検診や最新の治療についての講演や、乳がん自己検診コーナーや検査に関するパネル展示、がん地域連携パス展示を行いました。

来年度もテーマを変え、開催予定ですので、是非ご参加ください。



特別講演の
京都大学医学部
戸井雅和教授

万一の災害に備え救護班出動！

日本赤十字社九州八県支部合同災害救護訓練実施

11月
24(日)・25(月)

この訓練は、日本赤十字社九州八県支部が連携して医療救護活動や救援物資等の支援体制の確立を図ることを目的としており、今回は桜島が大爆発を起こし、大規模な被害が発生しているとの想定の下で実施されました。当院からも救護班1個班が参加し、万一の災害に備えました。そのほか、11月27日(水)～28日(木)に沖縄県での九州沖縄ブロックDMAT訓練や、11月30日(土)の佐賀県原子力防災訓練にも参加しました。



合同災害救護訓練
の救護班

内科

診療科の紹介

■スタッフ紹介

茨木 一夫 副院長
(昭和52年卒/糖尿病)

野田 隆博 第1内科部長
(昭和61年卒/消化器)

長嶋 昭憲 第2内科部長
(昭和62年卒/腎臓)

宮原 正晴 第3内科部長
(平成2年卒/血液)

冬野 誠太 第2内科副部長
(平成13年卒/腎臓)

岩根 紳治 医師
(平成14年卒/肝臓)

竹之下博正 医師
(平成15年卒/糖尿病)

鶴岡ななえ 医師
(平成16年卒/消化器)

加藤 剛 医師
(平成17年卒/呼吸器)

嬉野 博志 医師
(平成18年卒/血液・腫瘍)

小宮奈津子 医師
(平成20年卒/呼吸器)

久田 祥雄 医師
(平成21年卒/消化器)

黒木 和哉 医師
(平成21年卒/消化器)

竹下 枝里 医師
(平成22年卒/消化器)

✦診療実績

平成24年度 **DATA**
外来患者延数……28,576人
(一日平均117人)
入院患者延数……30,938人
平均在院日数………19.4日



|内科の紹介

当院内科には、代表的な内科の疾患である、糖尿病・呼吸器・血液・腎臓・神経の専門医が揃っております。それ以外の病気も総合内科専門医が多数在籍しており、患者さん一人一人に最適な治療を行っています。突然の病気に対しては24時間対応で救急車の受け入れを行い、当地区の救急医療を担っております。また地域がん診療連携拠点病院の認可を受けており最新のがん治療を行い、外来化学療法にも力を入れております。

|内科の取り組み

唐津は、糖尿病、高血圧、慢性腎臓病、肺気腫などの慢性病が多い地域です。これらの疾患は、早い段階から生活習慣を見直し治療することで病気の進行を防止できることが分かってきました。当院では、かかりつけ医の先生方や保健師さん、栄養士さんと連携し糖尿病教室や糖尿病教育入院などの予防医学にも積極的に取り組んでいます。最近増加している肺がんや、治療が難しい白血病・悪性リンパ腫などの血液がんは当地区唯一の専門病院であり積極的に診断・治療に取り組んでいます。



|循環器内科の紹介

心疾患は、日本人の死因の第2位を占めます。私たちの診療する心疾患には、心筋梗塞、狭心症、心不全、弁膜症、不整脈など多くの疾患がありますが、コントロール不良な高血圧の治療の見直しや、大動脈、足の血管の病気(末梢動脈疾患、静脈血栓症)なども含まれます。現在4名の医師が在籍しており、通常の外来では循環器内科医は毎日初診を担当し、さらに、緊急治療が必要な心筋梗塞、心不全などについては24時間対応可能な体制をとっています。

|循環器内科の取り組み

- **循環器救急**…………… 急性心筋梗塞はできるだけ早く、詰まった冠動脈を再疎通することが必要です。このような緊急検査、治療を実施できるように24時間体制をとっています。
- **専門診療と病診連携**… 急性期治療や専門的治療が終わり病状が安定すればホームドクターの先生に紹介し、私たちは緊急時や専門診療をうけもつ体制をとっています。
- **禁煙外来**…………… 禁煙治療のサポートをします。喫煙による健康被害はガンだけではなく、心臓病や脳卒中、さらに皮膚の老化などがあります。
- **ハートケア外来** ……… 高血圧だけでなく糖尿病も急増しています。重症化しないうちに、心臓病や血管疾患を見つけます。

P i c k U P !

ピックアップ!

消化器内科の紹介

消化器内科は、主として食道・胃・十二指腸・小腸・大腸・肝臓・胆嚢胆管・膵臓の病気を扱います(当院では、肝臓は肝臓内科が診療します)。当科では地域医療連携に力を入れており、唐津・伊万里地区の先生方と定期的に勉強会や情報交換を行っています。まずはかかりつけ医療機関を受診していただき、そこで診断・治療困難な場合に紹介状持参にて当院を受診していただければ最善の医療ができるものと思います。

消化器内科の取り組み

当科ではがんなどの重篤な疾患・難病・救急等を中心に診療しています。がんについては、診断・内視鏡的治療・化学療法・緩和治療と幅広く行っています。炎症性腸疾患については抗TNF α 抗体を含めた集学的治療をしています。難治性の逆流性食道炎については現在治験も行っていますので、かかりつけ医療機関にて治療中にも拘らず症状が持続する方は、かかりつけ医療機関を通してご相談ください。

循環器内科

診療科の紹介

■スタッフ紹介

森 唯史
第1循環器内科部長兼地域医療連携室長
(昭和63年卒/循環器)

橋本 重正 第2循環器内科部長
(昭和62年卒/循環器)

島津 秀樹 第1循環器内科副部長
(平成13年卒/循環器)

古川 陽介 医師
(平成19年卒/循環器)

✦診療実績

平成24年度 **DATA**
心臓カテーテル検査…161件
経皮的冠動脈形成術…116件
うち緊急 …38件
ペースメーカー植え込み術
新規 …27件 交換 …15件
冠動脈CT ……………124件
心臓超音波検査 …2,754件
ホルター心電図 ……110件

各科紹介

07

糖尿病と糖尿病予備群の方へ

はじめに

運動を始める前の条件として、血糖値が安定していることがあります。血糖値が不安定な状態で運動を行うと、低血糖を起こすなど危険な状態を招きかねません。運動を行う場合は、主治医とよく相談のうえ行ってください。

ポイント

- 運動開始は食事の約1時間後が最適です。
- 運動は最低週3回、行いましょう。
- 運動の継続時間は最低10分以上、できれば20~30分続けましょう。

ジョギングやウォーキングなどから始めるのが一番簡単でしょう。膝や腰の痛みなどでそれが難しいという方は、**A**のような**固定自転車**、**水中でのウォーキング**等をお勧めします。それらも難しいという方は、室内で座ったまま行える**B**のような**膝上げ**などの**筋力訓練**から始めてみましょう。

いずれにしても、ほどよくしんどい、もう少し運動を続けられそう、という程度の運動を行いましょう。



A

固定自転車



B

膝上げ運動

膝を伸ばして3~5秒程とめましょう。
左右両方行いましょう。

うまく運動を取り入れて、糖尿病と上手につきあってください。

〔監修〕理学療法士 宮原 智美 〔モデル〕作業療法士 吉富 竜一

切干大根のアラビアータ風

(1人分) 32キロカロリー 塩分0.3g



材料 (5人分)

切干大根	20g	唐辛子	適量
玉ねぎ	50g	薄口しょうゆ	小さじ1/2
トマト	150g	サラダ油	大さじ1/2
固形ブイヨン	1/2個	パセリ	少々

切干大根とトマトを組み合わせ、イタリア風に仕上げてみました。ブイヨンを使用することで、低カロリー・塩分控えめの一品が出来上がりました。トマトの酸味と唐辛子の辛みがきいてさっぱりしています。糖尿病教室の調理実習で好評だったレシピです。ぜひお試しください。

作り方

- 1 切干大根は湯につけてもどして、食べやすい大きさに切っておく。トマトは皮・種を取り除きコロコロに切っておく。玉ねぎはうす切りにしておく。
- 2 鍋に油を熱し、切干大根、玉ねぎ、トマトを炒める。切干大根のもどし汁を材料がひたるくらいに加えて、ブイヨンを入れ好みのやわらかさまで煮る。
- 3 唐辛子、薄口しょうゆで味をととのえる。
- 4 器に盛り、みじん切りのパセリをちらす。

〔監修〕管理栄養士 伊東 優



唐津赤十字病院

日本赤十字社

〒847-8588 佐賀県唐津市ニタ子1-5-1 TEL.0955-72-5111

唐津赤十字病院

検索



〔編集・発行〕唐津赤十字病院広報推進室

〔表紙のひと〕糖尿病コーディネーターの中尾 理恵子さん、諸岡 智子さん

編集後記

唐津赤十字病院“初”の広報誌『みらい』がいよいよ創刊されましたが、いかがでしたか？病院に携わる様々な職種の方の協力を得て、ようやく1つの冊子を創り上げることができました。

この広報誌『みらい』には、患者さんの健康と明るい未来を願ってやまない、そんな職員の想いが詰まっています。これからも愛される広報誌を目指して情報を発信していきます。

広報推進室 石田 裕宜